

国生みフォーラムin淡路島

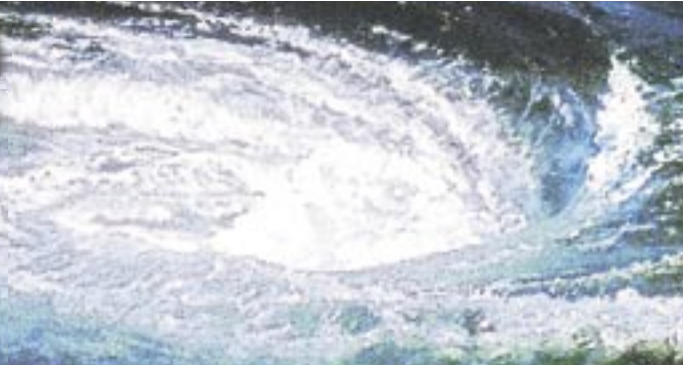
うず潮の世界遺産登録を目指して、前ユネスコ事務局長の基調講演及びパネルディスカッション等を行います。

日時 3月20日(火・祝) 13:30~16:40

場所 南淡公民館

参加費 無料

問 商工観光課 ☎37-3012



あわじ島「食と文化の祭典」

日時 3月25日(日) 9:30~15:00

場所 シーパ店内及び駐車場

- 内容
- ①軽トラ市(30台出店)
 - ②焼きそば甲子園(25店舗)
 - ③あわじ島スイーツ大集合
 - ④伝統文化発表会
 - ⑤ウィークエンドレストラン

問 農林振興課 ☎43-5025



人権啓発映画会

日時 3月10日(土)

9:45~16:00

場所 西淡公民館

内容 フラダンスと映画
「がんばっペフラガール」上映他

問 人権教育課 ☎37-3014



CATV電話が洲本市とつながります

3月15日(木)から南あわじ市と洲本市のCATV(ケーブル)電話で相互に通話ができるようになります。

電話番号は一部を除きNTT等の固定電話と同じ番号です。市外局番をつけずに6桁でおかけください。

なお、4月2日までは調整期間とさせていただきますので、一時的にサービスが停止することがあります。あらかじめご了承ください。

問 ケーブルネットワーク淡路 ☎43-2345

あ

はちとあわじ

統三原郡史

地名の由来

その33
(最終回)



淡路の国名について最も古い資料は、平成四年に藤原京跡から出土した木簡で、「粟道」と書かれている。藤原京は、持統八年(六九四)から和銅三年(七一〇)までの都であった。和銅五年(七二二)に成立した『古事記』の最古の伝本は、いわゆる真福寺本である。この本は、応安四年(三三七)から五年にわたって書かれたものである。それには、「淡道之穂之俵別嶋」、「淡道の屯家」など七例がある。養老四年(七二〇)に編纂された『日本書紀』には「淡路」、「阿波旋辞摩(あはでしま、あはぢしま)と書かれ、淡路が最も多く十六例ある。『万葉集』には、「淡路」、「粟路」と記され、『続日本書紀』と『風土記』逸文には「淡路」と記されている。平安初期に編纂された『旧事本紀』では「淡道国造」と書き、阿波の場合は「粟国造」と記している。

近年、藤原京跡出土木簡には、粟道の表記が見られた。こ

れが最古の表記で、粟道→粟路、淡道→淡路として「淡路」に落ちついたのであろう。平安前期に書かれた『琴歌譜』には「安波知」と書かれている。淡路の訓は、「あはち」であったので、戦前の淡路の仮名書きは、「あはぢ」で、明治期に創刊された『淡路新聞』の後身は「あはぢ新聞」という名称であった。仮名遣いには、歴史的仮名遣いと表音式仮名遣いがあるが、昭和二十二年、国語表記について、日本政府は、内閣告示で、表音式仮名遣いを採用し、現代仮名遣いを告示した。(昭和六十一年改定)。そのため、昭和二十二年以降は「あわじ」と書くようになった。

※今月号で、「地名の由来」を終了させていただきます。引き続き「統三原郡史」のご購読よろしくお願ひ申し上げます

限定版! 『三原郡史』の続編!

問 編集事務局

市長公室 ☎43・5002

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>

E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp